

第3期泉区地域福祉保健計画について

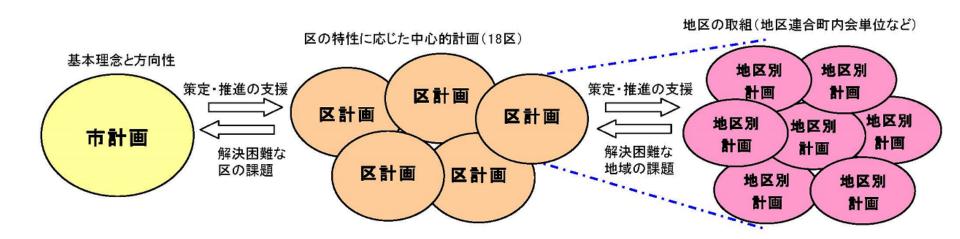
泉区役所福祉保健課

地域福祉保健計画とは①

- □ 誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域 づくりを目指して、
- □ 住民、事業者、公的機関が地域の課題解決に協働して、身近な地域の支え合いの仕組みづくりを進めるための計画
- □ 泉区では平成17年度~21年度の第1期、22年度 ~27年度の第2期に続き、28年度から第3期計画 がスタート

地域福祉保健計画とは2

- □ 横浜市全体では、全市計画と、各区で策定する区 計画・地区別計画で構成
- □ 泉区地域福祉保健計画は、区計画と連合自治 会・町内会を単位とした12の地区別計画で構成



泉区を取り巻く状況

- □ 平成23年から、ゆるやかに人口が減少しはじめており、今後も減少し続ける
- □ 高齢化率(人口に占める65歳以上の割合)は上 がり続ける
- ★人口・高齢化率の推移見通し(国勢調査を基にした推計)

年	人口	5年前との比較	高齢化率
平成22年	155, 698人	+3,349人	22.6%
平成27年	154, 674人	-1,024人	26. 3%
平成32年	152, 751人	-1,923人	28. 3%
平成37年	149, 146人	一3,605人	29. 3%

第3期泉区地域福祉保健計画の基本理念

基本理念

支え合い・助け合いが活きる!元気の出るまち泉

【目指すまちのイメージ】

- 1 子どもが元気に友達と遊んでいる姿
- 2 地域全体で楽しく子育てをしている姿
- 3 地域に暮らす誰もが、生きがいをもっている姿
- 4 自ら主体的に健康づくりに取り組んでいる姿
- 5 必要なときには周りの助けを得て、誰もが安心して暮らしている姿
- 6 日頃のご近所付き合いが防災や防犯にもつながっている姿
- 7 困ったときに「お互いさま」の気持ちで助け合える姿
- 8 孤立しがちな人も周りとつながる姿

第3期計画の「推進の柱」

□ 地区別計画・区計画に共通した、第3期の5年間で取組を進める方向性を示すもの

推進の柱1 健やかに過ごせるまち

推進の柱2 人と人、活動と活動のつながりがあるまち

推進の柱3 地域活動への参加がすすむまち

区計画①

- □ 各地区に共通する課題や、地区だけでは解決できない課題に対して地区の取組を支援するための計画
- □ 区役所・区社協・地域ケアプラザが、区民・活動団体・関係機関と協働して取り組む
- □ 3つの「推進の柱」に沿って、第3期の5年間で特に力を入れることを重点項目に定めて推進

区計画②(具体的取組)

- □ 推進の柱1 健やかに過ごせるまち
- 重点項目1 健康寿命を延ばすための健康づくりを進める
- 重点項目2 安心して暮らし続けられる環境を つくる





区計画③(具体的取組)

- □ 推進の柱2 人と人、活動と活動のつながりがあるまち
- □ 重点項目1 地域の中でより多くの人との交 流を進める
- 重点項目2 活動のネットワークと連携を強化 する





区計画4(具体的取組)

- □ 推進の柱3 地域活動への参加がすすむまち
- □ 重点項目1 地域活動の担い手を養成する
- □ 重点項目2 地域の活動に関心を持つ人を増やす

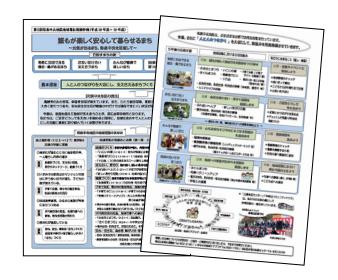




ボランティアフォーラム

地区別計画①

- □ より身近な地域の課題に対して、きめ細かく対応 するための計画
- □ 連合自治会・町内会のエリアを基にして、地域住 民自ら策定した12の地区ごとの計画
- □3つの「推進の柱」に沿って地区別計画を策定





地区別計画②

地区名	キャッチコピー	
中川地区	ご近所で助け合えるまちを目指して	
緑園地区	人・和のあるまち緑園	
新橋地区	ぬくもりのある町しんばし	
和泉北部地区	健やかで明るい、ふれあいのあるまち	
和泉中央地区	誰もが楽しく安心して暮らせるまち	
下和泉地区	手をつなぎ広めよう 支え合いの輪 笑顔で健康なまち	
富士見が丘地区	ご近所どうしで助け合い 安全・安心・快適なまちづくり	
上飯田地区	みんな仲間のまち 上飯田	
上飯田団地地区	支え合い、安心して暮らし続けることができる上飯田暖地	
いちょう団地地区	こんにちは 你好 Xin chào みんな笑顔で支えあうまち	
中田地区	みんなで支えあい ふるさと中田	
しらゆり地区	明るい笑顔のあるまち しらゆり	

計画の推進

- □ 地区代表、活動団体、関係機関等で構成する「泉 区地域福祉保健推進協議会」が活動情報を共有 し進行管理を行い、計画全体を推進
- □ 広報よこはま泉区版・区役所ホームページなどで 取組状況を紹介するほか、活動発表のイベントな どを実施
- □30年度に中間振り返り、最終年度の32年度に計 画の総合評価